

1F-11 なぜ細胞まるごとシミュレーションが必要なのか？

Why do we need whole cell modeling?

日時 Date : 2025 年 12 月 3 日 (水) 19:15~20:30

会場 : 第 11 会場 (パシフィコ横浜 会議センター 4F 「414+415」)

講演言語 : 日本語

オーガナイザー : 青木 一洋 (京都大学大学院生命科学研究科)

守屋 央朗 (岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域)

概要 : 細胞で起きるあらゆる現象を計算機上で再現することを謳う「細胞まるごとシミュレーション」は、分子／細胞生物学の究極のゴールである。それが達成した時、私たちは細胞の生命活動を本質的に理解できたと言えるだろう。一方、何がどこまでできたらそれは達成したと言えるのか？あるいは、完成した細胞まるごとシミュレーションは何を私たちにもたらしてくれるのか？この間に対する答えは明確ではない。本フォーラムでは、研究者による話題提供と会場の参加者を加えたパネルディスカッションを通じて、今、「なぜ細胞まるごとシミュレーションが必要なのか？」（あるいはやはりそれは必要ないのか？）を改めて考える機会としたい。

プログラム

1. 趣旨説明 (青木一洋)
2. パネラー紹介 (司会：青木一洋、守屋央朗)
 - 1) 海津一成 (理研)
 - 2) 市川彩花 (阪大)
 - 3) 柚木克之 (理研)
3. パネルディスカッション
4. まとめ (守屋央朗)